

# 「これぞ xR 革命 ものづくりの境界を取り除け！ -VR・AR・MR-

開催期日：2019年10月28日(月)

申込締切：2019年10月21日(月)

身の回りの様々な物の電子・情報化が進む今日において、その情報とユーザのインタラクションが必要不可欠になります。例えばユーザの動きを精密に計測し、その動きに合わせて情報を提示するといった技術が重要で、こういったインタラクションを支えるものとしてVR(バーチャルリアリティ)技術が近年注目され、エンターテインメントや製造業などの様々な場面で実際に使われ始めています。本講習会ではVR分野の第一線で活躍されている方々を講師にお招きし、VR・AR(拡張現実)・MR(複合現実)技術がこれまでのような歴史を辿ってきたか、現在どのように使われているか、今後はどのような方向に進んでいくか、といったことを様々な事例を交えてご講演いただきます。また、最新VRを体験する機会として、一部の講師の方々にデモンストレーションをしていただきます。

日時：2019年10月28日(月)10時00分～18時30分

会場：上智大学 四谷キャンパス 中央図書館 9階 L-921 会議室 (〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1)

\* 四ッ谷駅(JR, 地下鉄丸ノ内線, 南北線)下車徒歩約8分

\* 会場 URL: [http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access\\_yotsuya](http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya)

司会：田中秀岳(上智大学), 高杉敬吾(金沢大学)

次第：(予定)

時間	題目	内容	講師
10:00~10:05	挨拶		
10:05~11:00	新世代を迎えたVR技術	VRが平成と同年代だと聞いて驚く人が多いかも知れません。本講演では、これまでの主として製造業を中心としたVR技術の発展を紹介した上で、今後の第2世代とも呼ぶべきVR技術の方向性について紹介したいと思います。	東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授 廣瀬 通孝
11:00~11:05	休憩		
11:05~11:55	VR/ARとクロスモーダル効果 ～視覚情報で変える触覚と味覚～	ある感覚情報が他の感覚情報に干渉するクロスモーダル効果について、今回は視覚情報が触覚と味覚を変調させる具体例を紹介し、VR/ARの有効性と、クロスモーダルヒューマンインタフェースの将来展望について述べます。	横浜国立大学 大学院 環境情報研究院 教授 岡嶋 克典 デモ補助者：調整中
11:55~12:50	昼食		
12:50~13:40	産業イノベーションの最前線 -ARによる現場での3D CADデータの活用	現場の人手不足が進む中、製造業の強化を図るにはAR/IoTなどの最新技術を活用した課題解決が重要です。3D CADの設計データをARで活用することで、製造現場や保守サービスの生産性向上を実現できます。ARソリューションの最新情報を、活用事例を絡めてご紹介します。	PTC ジャパン株式会社 製品技術事業部 プリンシパル・テクニカル・スペシャリスト 西 啓
13:40~13:45	休憩		
13:45~14:35	VR技術の製造業への適応について	近年、ものづくりのデジタル化やハードウェアの進化によりVR技術への関心が高まっています。VRを製造業へ適用する取り組みや課題についてご紹介します。	デジタルプロセス株式会社 3DT ビジネス部 松村 聖美 デモ補助者：調整中
14:35~14:50	休憩		
14:50~15:40	富士通のものづくりにおけるAR技術の活用	AR/VR/MR技術の有望な適用先の一つが、製造業に代表されるものづくりの分野です。本講演では、富士通がユースケースとしてAR技術を保守・点検、検査などの作業現場に適用した事例と効果、課題を紹介します。	株式会社富士通研究所 ソフトウェア研究所 茂木 厚憲
15:40~15:45	休憩		
15:45~16:35	デザイン開発における3Dツール展開の取組み	デザイン業務の3Dデジタル化が進んでいる中、人員、予算など限りある条件があり、理想実現には非常に葛藤が多いのが現実です。理想とのギャップを感じながらも、デザイン業務のデジタル化定着に向け、当社が行っている等身大の取組みをご紹介します。	いすゞ自動車株式会社 デザインセンター 部長 植松 孝博
16:35~16:50	休憩		
16:50~17:40	VRのための触覚インタフェース	VRにおいて触覚は、対象の存在感を伝え操作性を向上させる重要な鍵となります。本講演では、VRのための触覚インタフェースの構成方法を、講演者自身の研究を中心に例示し、設計の要点について整理します。	電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 教授 梶本 裕之 デモ補助者：調整中
17:40~18:30	デモンストレーション		
18:45~20:30	名刺交換会 交流会(参加費無料)		

共催：公益社団法人 精密工学会／公益財団法人 精密測定技術振興財団 企画：事業部企画第1グループ

協賛(予定)：映像情報メディア学会/SME 日本支部/応用物理学会/大田区産業振興協会/型技術協会/軽金属学会/計測自動制御学会/コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)/自動車技術会/品川区/首都圏産業活性化協会/情報処理学会/TAMA-TLO/電気加工学会/電気通信協会/電子情報通信学会/日本オプトメカトロニクス協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本工学会/日本工作機械工業会/日本設計工学会/日本塑性加工学会/日本ソフトウェア科学会/日本鋳造工学会/日本バーチャルリアリティ学会/日本溶接協会/日本ロボット学会/ヒューマンインターフェース学会 \*協賛団体にご所属の方は会員価格にてご参加いただけます。

定員：60名(先着順で定員になり次第締切ります)

参加費：会員(賛助会員および協賛団体会員を含む)17,000円、学生会員2,000円、非会員31,000円、学生非会員7,000円

【会員・学生会員・非会員・学生非会員とも講習会テキスト代含む】 \*参加費・講習会テキスト代とも消費税を含みます。

※公益財団法人 精密測定技術振興財団の助成により参加費を低く設定しております。\*賛助会員参加無料券をお持ちの方は是非ご利用下さい。

資料：講習会テキストのみ、または聴講者で2冊以上ご希望の場合、1冊5,000円

申込方法：ホームページ([https://www2.jspe.or.jp/form/koshukai/koshukai\\_form.html](https://www2.jspe.or.jp/form/koshukai/koshukai_form.html))からお申込み下さい。

申込先：公益社団法人 精密工学会(〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-9 九段誠和ビル2F,

電話 03-5226-5191, Fax03-5226-5192)

お申込みフォーム→

